

【音楽・小6・いろいろな和音の音色を感じ取ろう】①

育成を目指す資質・能力

（知識及び技能）旋律、和音の響き、曲想との関わりを理解し、互いの声や音を聴き合いながら合わせて表現し、和音に含まれる音を使って旋律をつくる技能を身に付けることができる。

（思考力，判断力，表現力等）和音の響きの移り変わり、短調と長調の響きや旋律の重なり方の違いなどと曲想との関わりを考え、それらにふさわしい表現の仕方を工夫し和音の響きに合った旋律をどのようにつくっていくかについて思いや意図をもつことができる。

（学びに向かう力，人間性等）和音の響きの違いや移り変わりを生かしてより良く表現し、旋律をつくる課題に粘り強く取り組み自分の満足のいく作品づくりに向けて主体的・協働的に取り組もうとする。

ICT活用のポイント

リズムカードの並べ替え、録音による聞き返しを容易にし、イメージに合った旋律をつくりやすくする。

【つかむ】

表現したい旋律について、思い意図をもつ。

表現したい旋律をつくるためにどのような工夫をしたらよいか考えよう。

【追究する】

リズムや音の高さを選び、旋律をつくる。

【まとめる】

つくった旋律を演奏し、録音する。

事例の概要

○どのような旋律をつくりたいか思いや意図をもって、ICT端末上で旋律をつくる。

【事例におけるICT活用の場面①】

○「音の上がり下がりカード」に矢印を記入したり、「リズムカード」を選んで並べ、音を選んだりして旋律をつくる。

【事例におけるICT活用の場面②】

○作成したカードを見ながら鍵盤ハーモニカで旋律を演奏する。
○演奏を録音して聞き返し、旋律を修正することを繰り返すことで、イメージに合った旋律に近づけていく。

【音楽・小6・いろいろな和音の音色を感じ取ろう】②

【事例におけるICT活用場面①】



つくった旋律
○配置した後、「音の上がり下がりカード」の矢印に合わせて音を選ぶことができる。

表したい旋律
○どのような旋律をつくりたいか思いや意図をもつ。

音の上がり下がりカード
○思いや意図を可視化する。

リズムカード
○2拍分のリズムを選択することができる。
○コピーして何枚でも使える。
○和音に含まれる音を重ねた音符になっている。旋律をつくる際、その中から1音選ぶことができるようになっている。

ICT端末の学習支援ソフトのシート上に、旋律の動きを記入できる「音の上がり下がりカード」と、シートに音符を書いたものを縮小した「リズムカード」を配置し、カードを並べて旋律をつくることができるようにした。本シートにより、表したい旋律と「音の上がり下がり」「リズム」の関連が可視化される。

紙のカードと比べ、ICT端末上で必要なカードのコピーが容易である。また、修正時のカードの入替えも容易にできる。つくった旋律は修正の度にシートを保存することができ、学習のポートフォリオとして活用することができる。

【事例におけるICT活用場面②】



シート上でつくった旋律の演奏を録音することで、視覚と聴覚の両方から確認することができる。

今までは、つくった旋律を演奏することに精一杯になってしまい、旋律を確認したり、よりよい旋律に修正したりするまでに至らないことが多くあった。しかし、旋律を保存し、何度も聴いたり、つくった旋律を客観的に聴いたりすることで、よりよいものに修正することができる。友達と聴き合い、意見交流する際にも活用することができる。

【活用したソフトや機能】 ・学習支援ソフト ・録音機能